

■殿様日記 vol.14 「蘇る長岡藩主牧野家」

令和2年長月

令和2年4月から新潟医療福祉大学の奈良貴史教授によって「長岡藩牧野家の歴代藩主・正室の人類学的再検討」と題した研究が始まった。研究期間は4年間である。新型コロナウイルス感染症対策のため4月早々から研究活動は遅れた。

江戸の牧野家菩提寺は三田にある浄土宗済海寺であった。現在の住所で言えば東京都港区三田である。昭和57年(1982)墓所移転のための発掘調査は東京都港区教育委員会が中心となり、慶応義塾大学鈴木公雄教授に担当して頂いた。お骨関係は東京慈恵会医科大学解剖学教室の加藤征教授の担当で、藩主、正室などの骨格を調査して頂いた。その中で特に保存状態の良い6体の藩主の頭骨は今後の研究のため頭骨模型(レプリカ)を制作した。

藩主と正室などのお骨は長岡市東神田にある牧野家の菩提寺栄涼寺に新たな「旧越後長岡藩主歴代之墓」を建立し、昭和63年(1988)9月に再埋葬した。埋葬するにあたり加藤征教授から「今後骨格の新たな研究が必要となった時に、またお骨を取り出して研究できるようにしておいたほうが良い」とアドバイスを頂いた。そこで私は各藩主、正室のお骨を16個のお骨収納箱に個々に納め埋葬することにした。

本年、奈良教授から再研究のお話を伺った時に、この時の加藤教授のアドバイスが32年後に現実になったのだ、と誠に感慨深いものがあった。ちなみに奈良教授は38年前の発掘の時には慶應義塾大学の学生として調査に加わっていたのである。その学生さんが今や人類学の権威にまで成長されたのである。このことも感慨を深める一因であった。

歴代藩主、正室などのお骨を取り出すため、令和2年6月20日栄涼寺の斎藤隆信ご住職により発遣式



栄涼寺 旧越後長岡藩主歴代之墓

(魂抜き)を行った。7月17日お墓を開封し16個のお骨収納箱を取り出して新潟医療福祉大学に運んだ。7月24日同大学に於いて収納箱を開封しお骨の状態を確認した。一部状態の悪い物もあったがおおむね良好であるとの判断を奈良教授から伺った。

今回の研究課題は、1、骨形態解析 2、骨の科学分析 3、DNA解析 4、復顔 である。

発掘した38年前には頭骨を測るにも手作業であったが、現在は3次元計測が可能となり、CT画像撮影や3Dプリンターで頭骨模型が作れるなど、機械工学の進歩により一段と時間が短縮され正確になった。各研究課題も科学技術の進歩で新しいことが解明されると思っている。発掘当時は髪の毛からのDNA解析も話題となったが実現には至らなかった。今回の調査で藩主や正室の生活一般から健康状態、食生活など様々なことが分かってくるのではないかと研究成果に大いに期待している。

現在までに藩主の復顔は^{ただちか}5代忠周公、^{ただたか}6代忠敬公、^{ただとし}7代忠利公、^{ただきよ}9代忠精公の^{ただしず}長子忠鎮公、^{ただまさ}10代忠雅公の5体がすでに完成している。

今回の復顔予定の藩主は^{ただなが}4代忠壽公、^{ただひろ}8代忠寛公、^{ただゆき}9代忠精公、^{ただしず}11代忠恭公、そして正室は^{ただひろ}8代忠寛公の^{ながひめ}正室長姫、^{かずひめ}11代忠恭公の正室壽姫の計6体である。



旧越後長岡藩主歴代之墓を開封のため
上部墓石から取り外す



開封後の内部 お骨収納箱と
奉納般若心経百卷の桐箱が見える



最後の1箱とお墓内部



取り出した16個のお骨収納箱



5代 忠周



6代 忠敬



7代 忠利



9代長子 忠鎮



10代 忠雅

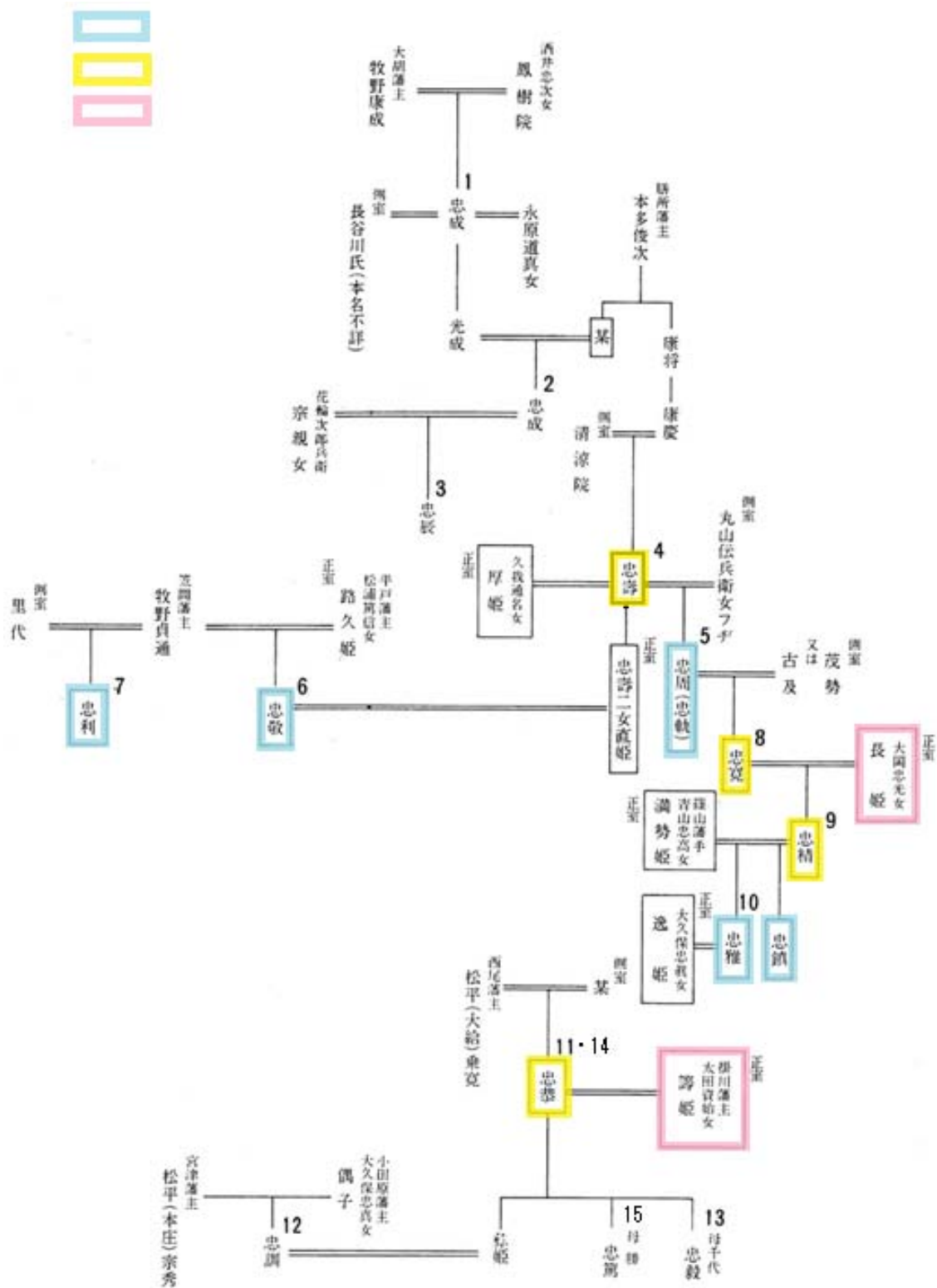


頭骨写真は『港区三田濟海寺 長岡藩主牧野家墓所発掘調査報告書』より。

復顔は5・6代：戸坂明日香、7代：鈴木敏彦・波田野悠夏、9代長子・10代：川久保善智による。

資料提供：新潟医療福祉大学 奈良貴史教授

これまでの復顔（5体）



資料提供：新潟医療福祉大学 奈良貴史教授

牧野家家系図



お骨収納箱（プラスチック製ケース）



蓋のすぐ下のウレタン樹脂



木製のお骨収納箱



緩衝材で守られた頭骨

中でも私は9代忠精公の復顔に注目している。忠精公は牧野家藩主として最初に老中職につかれた方で、雨龍の画も多く残されている。以前から肖像画が残っていないかと探しているがまだ発見に至っていない。すでに2人の息子である長男忠鎮公と4男忠雅公の復顔が制作されているので、父親から2人の子へと顔がどのように遺伝しているのか、似ているのか興味深い。

正室の復顔はまだ1体も実現しておらず、2人の正室の復顔は大変楽しみである。長姫は岩槻藩主大岡家の姫であり、籌姫は掛川藩主太田家の姫なので気品漂う生前の顔がよみがえることを大いに期待している。

本年11月8日アオーレ長岡において、「長岡藩牧野家の歴代藩主・正室の人類学的再検討」の研究に先立ち長岡市民向けに「シンポジウム『蘇る長岡藩主牧野家』in Nagaoka」を開催する予定であったが、新型コロナウイルス感染症対策のため中止となった。いずれ感染症終息後このシンポジウムが開催されることを祈っている。



新潟医療福祉大学にてお骨収納箱開封